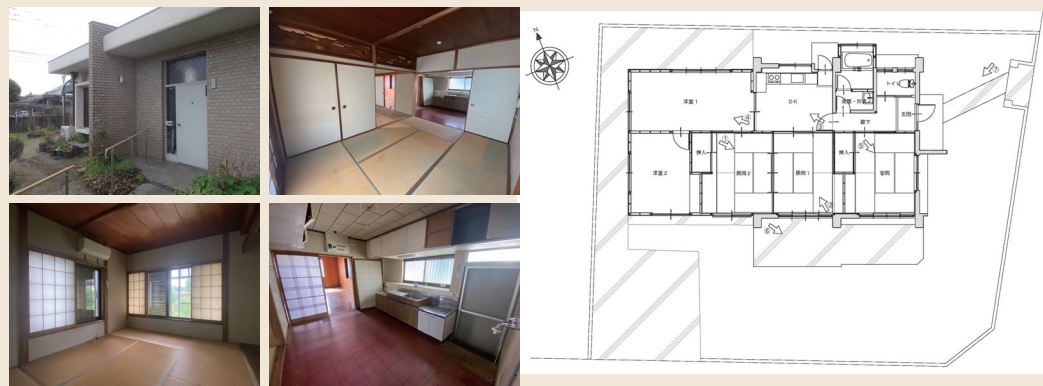


リフォーム前



昭和 41 年に建てられた築 56 年の鉄筋コンクリート造住宅で、洋室 1・2 および居間 2 は木造の増築。延床面積は 99.05 m²で図面調査・現地調査による UA 値の推定値は 3.49 [W/ m²・K]。20 代のご夫婦が祖父母の家を受け継ぎ、新たな住まいとしてリフォームすることとなった。思い出ある住まいを尊重しながら、断熱・耐震性能や省エネルギー性能、住みやすさを向上させ、次の世代まで長く住み続けられる住まいとしてリフォームすることが求められる。補助金を活用しつつ、また耐力に影響を与える間仕切りの大きな変更を極力避けることで、重要な部分に予算を集中できるよう計画を行っていた。

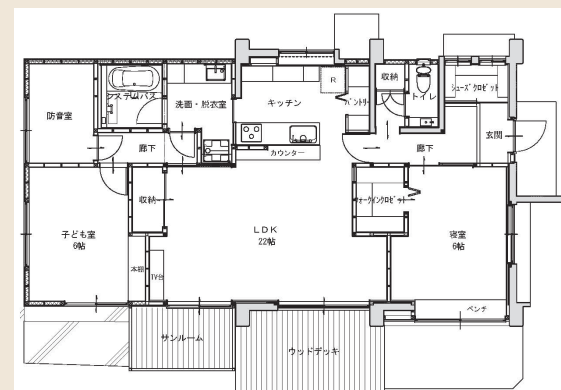


元の間取りを活かしつつ、現在のライフスタイルにあわない続きの和室や、玄関真横のトイレ・浴室、さらに洋室 1 が洋室 2 への通路を兼ねている問題を改善する。鉄筋コンクリート造部分は無断熱、木造部分も断熱材はほとんど入っておらず、また窓もアルミサッシ+単板ガラスだったため断熱性能を大きく向上させる必要があった。

リフォーム後



【家族の想いを実現した住まいの仕立て直し】暮らしの中心となる LDK は白を基調とした解放感のある明るい空間になり、自然と家族が集まる空間に。水廻りや子供室、寝室、サンルームの位置関係を整理し、家事のしやすい回遊導線の間取りを実現した。断熱の設計性能を実現するために、鉄筋コンクリート造部分には高性能断熱ボードを利用。断熱欠損のない確実な施工と工期の短縮を実現した。



浴室があった部分を一部減築し、庭側にはウッドデッキとサンルームを新たに設けた。リフォーム後の UA 値は 0.60 [W/ m²・K] で、断熱等級 5 相当。木造部は新耐震基準に適合した金物を筋交いや柱に取り付け耐震改修。廊下と部屋との段差の解消も行った。



続き和室の居間 1・2 と DK を L 字型の LDK としてまとめ、間接照明や調光機能付きの照明を採用。空間をスッキリと見せるリモコンニッチやスタディコーナーなどのこだわりも。LDK 全体が見渡せる対面キッチンにはパントリーも併設。



洗面・脱衣室と浴室を、物置として使うしかなかった洋室 1 に移動することで動線を整理し、家事効率を大きく改善。また、シミュレーションで大きな熱負荷が考えられた寝室には断熱内戸を計画することで、住み心地のいい快適な空間となった。



リビングからウッドデッキ、ウッドデッキから人工芝の庭へとつながる。玄関は元々のタイルのファサードを活かし、ドア周りをアクセントにして雰囲気を変えることでフレッシュさのあるデザインに。電気錠や宅配ボックスなど、現在のライフスタイルに合わせた設備も。

リフォーム Point

- ✓ ライフスタイルに合わせた住まいの仕立て直し
- ✓ ずっと安心して暮らすための耐震改修
- ✓ シミュレーションに基づいた断熱改修
UA 値：3.49 → 0.60 [W/ m²・K]
- ✓ 暮らし方の変化にも対応できる間取り
- ✓ 必要なところに予算を集中できるリフォーム計画

応募者・施工者	設計者	築年数	構造	建方形式	竣工	工事期間	工事費	所在地	リフォーム内容
株式会社深野木組	株式会社深野木組一級建築士事務所 深野木 信	56 年	RC+木造	一戸建て	令和 4 年 10 月	92 日間	2,500 万	鹿児島市	全面リフォーム+断熱・耐震改修